

シリーズ

協働のまちづくり

協働のまちづくり

問合せ
町民生活課自治推進班
TEL 6985

これまで協働のまちづくりの基本指針に基づき説明をさせていただきます

今回は、Q & Aで協働のまちづくりをポイントを絞って、説明させていただきます

協働のまちづくり

Q 「協働」って町広報誌でよく見かけるけど、なぜ必要なのですか？
これまでどおりではダメなのですか？

A 協働とは、行政と市民、市民と市民が共通の課題を解決するために協力して活動することです。

地域の課題を解決するためには、協働を行うことで、より効率的になることや、課題解決に向けて活動の質の向上を期待することができます。

●補足

右肩上がりの経済成長に支えられ、行政役場は、行政サービスを広げてきました。一例をあげると、住民会が取り組んでいた側溝整備があります。これは住民会長が地域の意見を取りまとめ、役場に要望し、役場は機械やト

ラフなどの資材を用意し、地域の皆さんが労力を提供し側溝整備を行いました。ところが現在は、町が工事を行う会社に一切を発注しています。このように行政の役割が拡大を続けてきました。

現在は、経済成長どころか、景気の低迷が長く続いています。

日本は、国内総生産(GDP)に対して、なんと借金が約2倍と、これは世界最悪の数字を独走しているのです。

ギリシャより悪いのです。ただ、国民からの借金(国債)がほとんどで、資産も多いので、他の先進国と同じような財政状況で深刻な状態ではないと言われています。とは言っても心配ですね。

また、世界一高齢化の進展が早い日本では、今のままでは、将来の年金制度を維持することが難しいことから、「社会保障と税の一体改革」が議論されている最中です。
地方分権とか地域主権と言われている

ます。今や国にお任せではなく、自分たちみんなが創意工夫して「まちづくり」をしていく時代が待ったなしで来ています。

町民の皆さんの意見を反映した、町民の皆さんの目線による無駄を省いた町政運営、必要箇所にはしっかりと予算を付ける、そのためには、町民の皆さんが参画する納得のいくまちづくり、それが「協働」のまちづくりです。

Q 協働のまちづくりって、何をしたらいいかわからない。

A 自治会や団体に加入し、いろいろな人々とコミュニケーションを図ることが大切です。地域での課題を解決するためには自治会へ、またその他ボランティア活動などを行いたい場合にはその活動を行っている団体へ加入することを勧めます。

まずは自治会などに加入し、いろいろな人々とコミュニケーションを構築することが重要です。

●補足

何かまちづくりにつながることやってみたいこと、興味のあることはありませんか。少子高齢化の波が押しよせるなか、子育て支援や高齢者福祉、福島原発事故もありました。環境問題とか、エコロジーなど、同じ考

えを持つ人が集まったら、何か面白いこと、やりがいのあることが見つかるかも知れません。

町では、こういう活動をしようというグループやNPOといえます。(やNPO法人を応援しようという制度も検討しているところです。

まちづくりに関すること、どんなことでも構いません。ご質問、ご意見がありましたら、お気軽にご連絡ください。

Q どうやって町政に参画するの？

A 町では、町政に対する意見を聞く場として委員の公募、パブリックコメント制度、町民ポスト、町長と語るうなどがあります。皆さんの意見や提案を町政に反映させ、まちづくりを進めていきます。

●各委員会委員

各委員会などの委員を決めるとき、各団体からの推せんや住民からの一般公募をしています。そこに応募していただくことで、委員として参画することができます。

町では、多様な人材のご意見を町政に反映したいと考えています。男性に限らず、より多くの女性の応募をお待ちしています。

シリーズ

協働のまちづくり



【除雪ボランティア】

●パブリックコメント制度

パブリックコメント制度は、何かの計画を立てたり、大きな事業をする場合に、計画の案の段階で意見をいただき、その意見を考慮して計画や事業を進めます。

●町民ポスト

町内9か所に「町民ポスト」が設置してあります。「あなたの声をお聞かせください」とあるように皆さんの意見を町政運営に反映しようとするものです。

●町長と語ろう

団体やグループでテーマを決め、町長と直接意見交換ができます。